

生活支援場面における介助技術

～利用者の状況観察と介助方法を考える～

日 程 2019年8月2日(金) (10:00～16:00)

対象者 介護福祉関係者 及び興味のある方 推奨職員:(初級～中級・介護職)

料 金 会員(法人・個人)8,000円 ・一般10,000円

会 場 ウィリング横浜(横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー)
京浜急行、横浜市営地下鉄「上大岡駅」徒歩3分

ご利用者の方が、普段の生活を、心地よく、穏やかに過ごすためには、支援している人が、その時々
の利用者の状況に応じて、介助の方法を変え、さりげなく対応をすることが、必要です。
本研修では、QOL 向上のために、様々な生活支援の場面を想定し、アセスメントの時の観察ポイント
や視点と支援時の配慮すべきことや介護技術の基本を確認します。

【 講 師 】

櫻井 恵美 東京福祉大学・大学院 助教授

介護福祉士・社会福祉士。特別養護老人ホーム
介護職、デイサービス相談員を経て、介護教員となる。
著書等に「介護技術〇と×」、「根拠に基づく生活支援
技術の基本(DVD)」「おはよう2 12017.12～2018.12
連載」(すべて中央法規)などがある

～講師からのメッセージ～
普段何気なく、当たり前に行っていることに意味
を持たせましょう。観察からアセスメント、そし
て介助にどう活かすかを実践しながら、皆様と一
緒に考えていきましょう。そして、ここでの気づ
きを職場に持ち帰っていただければ嬉しいです。

《カリキュラム》

- ◎ 介護の基本原則
- ◎ 観察とアセスメントの手法
- ◎ 介助別にみる観察ポイント

- ・食事介助
- ・排せつ介助

- ◎ 観察チェックポイントの

マニュアルを作ってみよう

《介助実技演習》

介助の実践をとおして、

細かい確認ポイントや指導ポイントを考えてみよう!

- ・食事介助
- ・状態別介助
- 麻痺のある人
- 円背のある人



法人名	※会員の方は必ず法人名をご記入下さい。		
事業所名			
会員種別	() 会員	() 個人会員	() 一般
個人会員番号			

(公社)かながわ福祉サービス振興会(教育事業課) 行
FAX:045-671-0295
TEL:045-210-0788
〒231-0023横浜市中央区山下町23 日土地山下町ビル9階

連絡先	〈住所〉 〒 — — — — —		(自 宅 ・ 法 人 ・ 事 業 所)	
	〈mail〉	@		
	〈電 話〉	— — — — —	〈ファックス〉	— — — — —
法人サービス詳細	① 特別養護老人ホーム ② 介護老人保健施設 ③ 介護付有料老人ホーム ④グループホーム ⑤ 病院 ⑥ 訪問介護 ⑦ 通所介護 ⑧ 居宅介護支援 ⑨ 障害関係() ⑩ その他のサービス()			

<参加者名簿>

お申込合計人数 (名)

No.	フリガナ 氏 名	性別	ご職業	経験年数	①参加費
1		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他()	年	1.会員(¥8,000) 2.個人会員(¥8,000) 3.一般(¥10,000)
2		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他()	年	1.会員(¥8,000) 2.個人会員(¥8,000) 3.一般(¥10,000)
3		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他()	年	1.会員(¥8,000) 2.個人会員(¥8,000) 3.一般(¥10,000)
連絡事項					